東京同窓会役員の皆様へ

東京同窓会会長　磯部　剛

猛威を振るった新型コロナの第５波も、ようやく下火になり、緊急事態制限も解除の運びとなりました。役員の皆様におかれましては、１年半も続くコロナ以前とは全く異なる生活に辟易されていることかと拝察いたします。

先日、大津緑洋高校同窓会関西支部より会報の送付を頂きました。その中に添付のような、「コロナ禍でもガンバッチョルデ」と題する、数名の方々の投稿記事があり、興味深く拝読いたしました。詳細は添付をご覧い頂ければと思いますが、同窓生各位のコロナ禍での生活への思いが良く伝わり、コミュニケーションの促進に大いに役立っているのではないかと感じました。

そこで私ども、東京同窓会でも同様の企画を行い、会員同士の親睦促進の一助にできないかと考えました。幸いにも本年４月に再スタートした、ホームページでは会員からの自由な投稿ができる機能が備わっており、これを活用すればより有効に目的が達せられると考えます。

つきましては、役員の方々へ、提案方々お願いいたしますが

「マケチャーオレン・コロナ禍に」

と題して役員の方々の投稿をホームページに掲載したいと考えます。

内容は、コロナ禍における日常生活、仕事や勤務への影響、巣ごもり生活での新たな体験、取り組み、発見、楽しみ、コロナ禍に思うこと等々に関し、５００字程度にまとめていただければと思います。

この企画を契機に、ホームページを活用した会員間のコミュニケーションがさらに活発化できればと願っております。